

3日前



風水害時 あなたの身にせまる 危機的な状況を **イメージ** できていますか？

1日前



発災



1週間後



想定し得る最大規模の風水害リスクシナリオ

風水害リスクシナリオは、台風や豪雨による大規模な災害発生時に想定される被害や状況等を時系列でまとめたものです。災害時のリスクを適切に理解し、事前に取りるべき行動や備えをしておくことで、自らの命を守りましょう。

風水害時の様々なリスク

本市では、これまでに伊勢湾台風や東海豪雨といった大規模な災害を経験しており、災害は決して他人事ではありません。自宅や避難場所だけでなく、職場や学校など様々な場面の災害リスクを理解することが大切です。

市内全域で様々な危険性があります！

浸水の長期化

伊勢湾台風では、海拔ゼロメートル地帯を中心に市域の広範囲が浸水し、市域の排水完了までに約2か月を要しました。

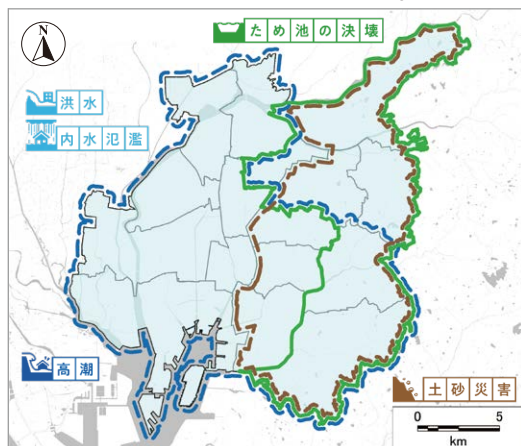


昭和34(1959)年 伊勢湾台風
浸水約1か月後(港区)

地下施設への浸水

地下街や地下室、地下鉄等は、地上が浸水すると一気に水が流れ込み、階段は上れず、水圧で扉も開かなくなるおそれがあります。そのため、避難指示等が出たらすぐに地上へ避難しましょう。

市域のハザード分布(区別)



※洪水、内水氾濫は全区が該当

丘陵地に鉄砲水

昭和58年の台風がもたらした突発的な集中豪雨では、名東区の丘陵地で、道路にあふれた水が鉄砲水となって坂道を下り、下校中の子供が犠牲になりました。



出典:下押交差点付近
(昭和58年9月29日 朝日新聞)

水害と風害の危険性

高潮等による浸水と風による被害が重なると、建物の上階へ避難しても屋根等が壊れ、安全を確保できなくなる可能性があります。



昭和34(1959)年 伊勢湾台風(港区)

土砂災害の危険性

市東部の各地で土砂災害が想定されています。過去には市内で斜面崩壊が発生し、犠牲者も出ています。



洪水と内水氾濫による浸水

洪水の危険性が高まっている場合、洪水よりも先に内水氾濫が発生する可能性があります。また、河川堤防が決壊すると、河川から近い地域では急激に浸水し、河川から遠い地域では遅れて浸水が始まります。

突風による災害

突風は豪雨の際にも発生し、積乱雲に伴う上昇気流によって発生する「竜巻」や積乱雲から冷たい空気が強く吹き降り、強烈な風を吹き出して広がる「ダウンバースト」などがあります。



昭和54(1979)年9月4日
名古屋市で発生した竜巻(気象庁)

様々な地域でライフラインが停止

ライフラインの供給施設等が被災した場合、その供給地域等の全体に影響が及びます。そのため、浸水しない地域でもライフラインが停止する可能性があります。

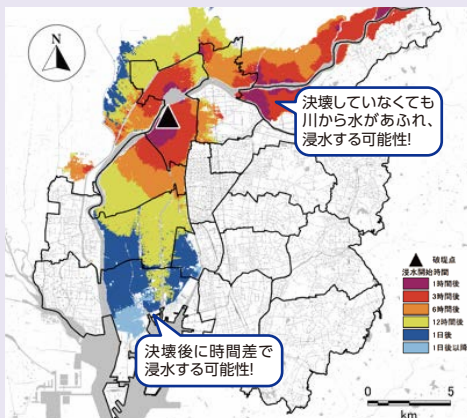
洪水による浸水の状況や広がり方を確認しよう！

洪水は、河川堤防が決壊する地点によって浸水区域や浸水開始時間が異なります。「浸水ナビ(国土交通省)」で、様々な破堤点から浸水が広がる様子を確認してみましょう。



浸水ナビ

浸水ナビ



浸水が広がる様子(庄内川)

ハザードマップで災害リスクを確認しよう！

「なごやハザードマップ防災ガイドブック」で、自宅等の危険性を確認し、指定緊急避難場所や安全な避難路も確認しておきましょう。



なごやハザードマップ防災ガイドブック

名古屋市 ハザードマップ



リスクシナリオと併せて活用！



日頃からの備え

風水害は多くの場合、気象情報や避難情報等から事前に災害の切迫度を把握できるため、事前に適切な防災行動を取ることで被害を減らすことができます。災害リスクを理解し、事前にとるべき行動や備えをしておくことが大切です。

リスク1 逃げ遅れ等により被災する可能性

→ **マイ・タイムラインを作成しよう!**

防

「なごやハザードマップ防災ガイドブック」で気象や避難等の情報について理解し、「マイ・タイムライン」を作成しておくことで、迅速な避難につなげましょう。

また、名古屋市防災アプリの気象警報等の通知やマイ・タイムライン作成機能等も活用しましょう。



名古屋市防災アプリ



リスク4 長期浸水やライフライン停止のおそれ

→ **長期の避難生活を想定して備えよう!**

防

浸水地域内外に関わらず、備蓄物資は7日分程度、家族の人数も考慮して用意し、想定外の出来事に備えましょう。



リスク6 帰宅が困難になるおそれ

→ **災害のおそれのある場合は外出を控えよう!**

やむなく外出した場合でも、電車やバスが運行を見合わせたら無理に帰ろうとせず、職場や学校に留まるなどの対応が重要です。

外出先に留まれない場合は、宿泊施設など、安全に滞在できる場所があるかを確認しておきましょう。



災害時の情報収集

リスク8 ライフライン停止や交通支障が発生するおそれ

→ **各機関のホームページを確認しよう!**

災害時には、各機関のホームページでライフライン供給停止状況、道路交通情報、鉄道運休情報等を確認することができます。



防災・災害関係リンク集

リスク9 通信途絶等により情報が伝わらないおそれ

→ **「00000JAPAN」を活用しよう!**

災害時に開放されるフリーWi-Fi「00000JAPAN」に接続することで、災害情報の収集や安否の確認ができます。

なお、セキュリティ対策が講じられていないため、個人情報等の入力は避けましょう。



災害用統一SSID「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」の利用について

00000JAPANを選択することで、インターネットに接続します。



※Wi-Fiが使用できる通信端末で接続してください。

防 「なごやハザードマップ防災ガイドブック」に詳しく掲載

リスク2 避難場所が大混雑する可能性

→ **多様な避難行動を考えておこう!**

防

避難生活を想定し、安全な親戚・友人宅、ホテル等への避難(分散避難)なども検討しておきましょう。



リスク3 いつもの病院が利用できないおそれ

→ **薬も備えておこう!**

防

災害時に備え、持病の薬は3日分(できれば7日分)準備しておきましょう。また、避難時はお薬手帳も持参しましょう。



リスク5 停電して冷房機器が使えないおそれ

→ **熱中症に注意しよう!**

夏場の発災時に冷房機器が使えなくなることを想定し、日頃から熱中症に備えることも大切です。

- ・塩分補給、水分補給を行う
- ・携帯型扇風機やうちわで体を涼しく保つ など



災害時の熱中症予防(内閣府)

リスク7 浸水した家電製品による通電火災のおそれ

→ **避難時や停電時は通電火災に備えよう!**

浸水した家電製品による通電火災の対策が必要です。

- ・避難時にブレーカーを落とす
- ・家電製品のスイッチを切り、コンセントからプラグを抜く
- ・浸水した家電製品は使わない など

OFF



災害後に必要な対応

リスク10 自宅、職場等において浸水が発生

→ **被害状況を写真で撮影し記録に残そう!**

浸水被害等にあった場合、罹災証明書を取得することで様々な支援を受けられます。

各種被災者支援制度について、事前に確認しておきましょう。



被災者支援に関する各種制度

リスク11 廃棄物が混合状態で排出され悪臭や交通障害が発生

→ **災害廃棄物は仮置場に分別して持ち込もう!**

防

家具等の大量の廃棄物を路上に出すと、道路が通行できなくなり、応急対策活動の支障になります。

災害廃棄物は、市が開設する仮置場に持ち込みましょう。

また、日頃から不用品は処分するようにしましょう。



出典:災害廃棄物対策フォトチャンネル